



子どもの貧困を考える ネットワークニュース

2020年 7月号

隔月発行

発行:子どもの貧困問題

大阪ネットワーク理事会

子どもの貧困問題大阪ネットワーク

全体会議を開催 2/2(日)M&Dホール



浅井春夫氏

子ども貧困ネットは2月2日、全体会議(総会)を開き、2019年度の活動・収支報告、2020年度の方針・予算、役員体制が提起され承認されました。総会の第二部では、子どもの貧困対策研究会(以下「研究会」)・大阪ネットワークとして実施した「市町村調査」の集計報告を、研究会の藤井伸生会長(京都華頂大学教授)からしていただきました。つづいて、記念講演として、「子どもの貧困解決への道 ~公の役割と私たちにできること~」をテーマに浅井春夫氏(立教大学名誉教授)に講演いただきました。

子どもの貧困対策に市町村「格差」 藤井会長「社会保障の拡充必要」

同調査は子ども貧困ネットの構成員らで立ち上げた研究会が実施し、大阪府内の43全市町村から回答を得ました。

調査は、対策において市町村格差が生じていることを明らかにしました。

子どもの貧困対策計画を設けている市町村は3割に満たず、対策推進法の改定により計画の策定が努力義務になったものの、「検討している」自治体はわ

ずか半数に留まっています。対策に取り組むための予算を設けている自治体は6割程度ありますが、予算規模は様々です。また、子ども食堂への補助金制度がある自治体は半数程度で、自治体の姿勢に温度差があるのが実態です。

藤井会長は、「対策の格差是正に向けて大阪府がイニシアティブをとり、援助していく必要がある」と指摘。大阪府が策定する第二次子ども貧困対策計画に対し、「社会保障拡充という視点が抜けている。貧困解決に向けた本気の対策が求められる」と訴えました。(※調査結果は子ども貧困ネットのホームページで閲覧可能です。)

子どもの貧困解決へ 浅井教授「対策条例化の運動を」

記念講演では、「子どもの貧困解決へ—公の役割と私たちにできること」をテーマに浅井春夫立教大学名誉教授にお話しいただきました。

浅井教授は、「子どもの貧困は大人の貧困であり、経済的な問題を避けては通れない。子どもと一緒に暮らす家族の世帯収入を増やすこと抜きに解決は望めない」と指摘。「解決に向けて財政的に所得保障に取り組み、税控除や社会保障という形で所得の再分配に重点的に取り組む必要がある」と強調した。

また、浅井教授は財政出動の伴う対策に後ろ向きな国の姿勢を批判し、「(市民の取り組みとして)全国で子どもの貧困解消を求めるネットワークをつくり国の姿勢を包囲し法律の改善を求めていくことが大切」と強調。「国に要望する一方で都道府県ごと、市町村ごとに子どもの貧困対策に関する条例の制定を求めていくことも必要だ」と訴えました。

【2020年度役員体制】※7月31日現在

	名前	所属
理事長	中田 進	個人
副理事長	藤永 延代	大阪自治体問題研究所
	有田 洋明	大阪自治体労働組合総連合
	柚木 健一	教育相談おおさか
会計	藤原 喜代美	個人
理事	堤 昭子	社会福祉施設経営者同友会
	戸井 逸美	大阪府歯科保険医協会
	竹内 晃子	大阪民主医療機関連合会
	秋吉 澄子	全大阪生活と健康を守る会
	北川 拓	子どもの権利 NGO 大阪
	浜 正幸	大阪自治体問題研究所
	青木 道忠	相談支援研究所
会計監査	江田 有子	全大阪生活と健康を守る会
事務局	堤 惇一郎	大阪府歯科保険医協会
	仁木 将	大阪自治体労働組合総連合



大阪市に緊急要請 子ども食堂などの支援を

5月7日、新型コロナウイルスの感染拡大で学校休校がさらに長引く中、大阪ネットワークは、大阪市対策連絡会議(以下「大阪市対連」と連名で「子どもの栄養、健康の深刻な状況を改善するため、子ども食堂の支援、学校給食の活用を求める緊急要請書」を大阪市の松井一郎市長、山本晋次教育長宛てに提出しました。

要請書で、大阪市内の子ども食堂の約7割が休止しているが、3割は空腹を抱えた子どもたちを放置できずに開いているとし、「本来は行政がやるべき仕事を引き受けている。早急な支援が求められている」と指摘し、

1. 子ども食堂など、子どもの居場所への特別な配慮、財政的支援を行うこと。
2. 学校給食用食材を、大阪市が買い上げ、子ども食堂に提供すること。
3. 学校給食施設・設備を活用し、安心・安全・おいしい食事を子どもたちに提供すること。

一の3点を要望しています。

大阪ネットワークの藤永のぶよ副理事長は、西成区のある子ども食堂では8割がシングルマザーで日曜以外の昼、夜に食事を提供している実態や、ボランティアが活動を支えている実態などを述べ、「学校が再開したら子どもがやせていたとならないよう、市が財政支援などの下支えを」と要請しました。

子ども貧困ネット活動紹介

子ども貧困ネットでは、①調査活動②子ども食堂③学習支援活動一の3つのワーキンググループを軸に子どもの貧困の実態を掴み、発信し、自治体との交渉、政策提言を行っていきます。

現在、府内で活動する諸団体への訪問などを実施しています。

*** ニュースに関する問い合わせ***

niki@osaka-jichiroren.jp

☆冊子のご案内☆



2月2日の全体会議(総会)での基調報告と記念講演をもとに冊子を作成しました。

ぜひ購読いただき、活用ください。

頒価 300円(※20冊以上の注文で250円)

ご注文は、[子どもの貧困問題大阪ネットワーク](http://www.childpoverty-osaka.net)

ホームページの[お問い合わせ](mailto:info@childpoverty-osaka.net)もしくは、

info@childpoverty-osaka.net よりお願いします。